

CLIPPEDIMAGE= JP356149219A

PAT-NO: JP356149219A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56149219 A

TITLE: INSTRUMENT PANEL FOR AUTOMOBILE

PUBN-DATE: November 19, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ITO, TAKASHI

YAMAMOTO, TSUMORU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MITSUBISHI MOTORS CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP55051673

APPL-DATE: April 21, 1980

INT-CL (IPC): B60K037/02;B60Q003/04

US-CL-CURRENT: 180/90

ABSTRACT:

PURPOSE: To make effective use of the erected part of the instrument panel by making the indicating part of an illuminated indicator erected on the instrument panel and by fitting an auxiliary instrument panel thereon.

CONSTITUTION: The illuminated indicator 6 is fitted and fixed, in an erected manner, to the main body 1 of the instrument panel. And the auxiliary instrument panel 12 is fitted to the illuminated indicator 6 and the main body of the instrument panel so as to cover the upper surface of the indicator 6. By constituting the device in this way, the erected part of the main body 1 of

the instrument panel can be utilized effectively without
damaging the external
appearance thereof.

COPYRIGHT: (C)1981, JPO&Japio

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑮ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭56-149219

⑯ Int. Cl.³
B 60 K 37/02
// B 60 Q 3/04

識別記号

庁内整理番号
6475-3D
6471-3K

⑯ 公開 昭和56年(1981)11月19日
発明の数 3
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑯ 自動車用計器板

⑯ 特 願 昭55-51673

⑯ 出 願 昭55(1980)4月21日

⑯ 発明者 伊藤孝

岡崎市橋目町字中新切1番地三
菱自動車工業株式会社乗用車技
術センター内

⑯ 発明者 山本積

岡崎市橋目町字中新切1番地三
菱自動車工業株式会社乗用車技
術センター内

⑯ 出願人 三菱自動車工業株式会社

東京都港区芝5丁目33番8号

⑯ 復代理人 弁理士 岡本重文 外2名

明細書

1. [発明の名称]

自動車用計器板

2. [特許請求の範囲]

1) 車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体上に取付けて同照明表示器の表示部を同計器板本体の上面から立上らせ。同照明表示器の上面を複数補助計器板を同照明表示器及び同計器板本体に取付けたことを特徴とする自動車用計器板。

2) 車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体の略全幅に亘り設けた複数凹部に収容するとともに同計器板本体に取付けて同照明表示器の表示部を同計器板本体の上面から立上らせ。同照明表示器に亘りたハーネス等を同照明表示器背後の前記複数凹部内に収容して、同照明表示器の上面を複数補助計器板を同照明表示器及び同計器板本体に取付けたことを特徴とする自動車用計器板。

3) 車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体の略全幅に亘り設けた複数凹部に収容するとともに同計器板本体に取付けて同照明表示器の表示部

を同計器板本体の上面から立上らせ。同照明表示器の上面を複数補助計器板の長手方向一側縁に設けた係合部を同照明表示器の長手方向一側縁に設けた係合部に係合するとともに同補助計器板の長手方向他側縁に設けた取付部を同補助計器板のデフロスタガーニッシュ取付用開口部を作業孔として前記計器板本体に取付け。デフロスタガーニッシュを前記開口部に係合して取付けたことを特徴とする自動車用計器板。

3. [発明の詳細な説明]

本発明は自動車用計器板の改良に関するものである。

従来の自動車用計器板は、第1、2図に示すように計器板本体(1)の段差立上部(2)に時計等の計器類(3)を装着しているにすぎず、その外の部分があいていて、スペースの有効利用が計られていないという問題があつた。

本発明は前記の問題点に対処するもので、車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体上に取付けて同照明表示器の表示部を同計器板本体の上面か

ら立上らせ。同照明表示器の上面を覆う補助計器板を同照明表示器及び同計器板本体に取付けたことを特徴とする自動車用計器板に係り、その目的とする処は、計器板本体立上り部のスペースをデザイン的な見栄えを損わずに有効利用できる改良された自動車用計器板を供する点にある。

本発明の自動車用計器板は前記のように車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体上に取付けて同照明表示器の表示部を同計器板本体の上面から立上らせ。同照明表示器の上面を覆う補助計器板を同照明表示器及び同計器板本体に取付けたので、計器板本体立上り部の略全幅がベルト、燃料、ドア、冷却水温等の警告表示、又は走行距離、燃費、平均車速、時刻等のデジタル表示を行う表示部となる。しかも同表示部を除く照明表示部の部分が補助計器板の下にかくれて外部から見えない。従つて計器板本体立上り部のスペースをデザイン的な見栄えを損わずに有効利用できるものである。

また本発明の自動車用計器板は車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体の略全幅に亘り取付けた

溝状凹部に収容するとともに同計器板本体に取付けて同照明表示器の表示部を同計器板本体の上面から立上らせ。同照明表示器に伸びたハーネス等を同照明表示器背後の前記溝状凹部内に収容して、同照明表示器の上面を覆う補助計器板を同照明表示器及び同計器板本体に取付けたので、計器板本体立上り部のスペースをデザイン的な見栄えを損わずに有効利用できるという効果の外に、配線作業を補助計器板取付け前の計器板本体の上方から行うことができて、作業がし易くなる。またハーネス、照明表示器等がヒータの部材等と干渉しきくなつて、異音の発生を防止できるという効果を併成できるものである。

また本発明の自動車用計器板は車幅方向に長尺の照明表示器を計器板本体の略全幅に亘り取付けた溝状凹部に収容するとともに同計器板本体に取付けて同照明表示器の表示部を同計器板本体の上面から立上らせ。同照明表示器の上面を覆う補助計器板の長手方向一側縁に取付けた係合部を同照明表示器の長手方向一側縁に取付けた係合部に係合する

とともに同補助計器板の長手方向他側縁に取付けた取付部を同補助計器板のデフロスタガーニツシユ取付用開口部を作業孔として前記計器板本体に取付け。デフロスタガーニツシユを前記開口部に係合して取付けたので、計器板本体立上り部の略全幅が前記のように警告表示やデジタル表示を行う表示部となる。しかも同表示部を除く照明表示部の部分が補助計器板の下にかくれて、照明表示部の長手方向一側縁に取付けた係合部が補助計器板の長手方向一側縁に取付けた係合部の内側にかくれて、補助計器板の長手方向他側縁に取付けた取付部がデクロスタガーニツシユの内側にかくれて、これらの部分が外部から見えない。従つて計器板本体立上り部のスペースをデザイン的な見栄えを損わずに有効利用できる。また上記のように構成されており、照明表示器の支持剛性が高くて、ビビリ音の発生を防止できるものである。

次に本発明の自動車用計器板を第3図乃至第7図に示す実施例により説明すると、(1)が計器板本体、(2)が同計器板本体(1)の略全幅に亘り取付けた

溝状凹部、(3)が同溝状凹部(2)の長手方向一側縁に取付けた複数個の係合孔、(4)(5)が同溝状凹部(2)の長手方向他側縁に取付けた複数個の取付座、(6)が車幅方向に長尺の照明表示器、(6a)(6b)が同照明表示器(6)に取付けた表示部で、このうち、透明板よりなる表示部(6a)には、ベルト、燃料、ドア、冷却水温等の警告表示用マークまたは文字が表示されている。また照明表示器(6)内は上記マークまたは文字に対応して複数の室に仕切られるとともにそれぞれにランプ(7)が内蔵されており、ランプ(7)が点灯して、上記マークまたは文字が照明表示されるようになつている。また表示部(6b)の窓には、デジタル表示器(8)が接着されており、計算機で計算した走行距離、燃費、平均車速、時刻等がデジタル表示されるようになつている。また(9)が同照明表示器(6)の長手方向一側縁下部に取付けた複数個のフック、(10)が同照明表示器(6)の長手方向一側縁上部に取付けた係合部、(11)が同照明表示器(6)の長手方向他側縁上部に取付けた複数個の取付座、(12)が補助計器板、(13)が同補助計器板(12)の長手方向一

側縫に設けた係合部。04が同補助計器板02の長手方向他側縫に設けた複数個の取付座。05が同補助計器板02に設けたデフロスタガーニッショ取付用開口部。06がデフロスタガーニッショ。07が同デフロスタガーニッショ06に設けた係合部。08が前記照明表示部(6)に延びた電線。09(10)がビス。01がフロントワインドガラス。02がフロントデッキである。

次に前記自動車用計器板の組付順序を説明する。まず照明表示器(6)を計器板本体(1)に組付ける。このときには、照明表示器(6)の各フック(9)を計器板本体(1)の各係合孔(3)に係合する一方、照明表示器(6)の各取付座(4)を計器板本体(1)の各取付座(11)に面合せして、それぞれをビス09により固定する(第6図参照)。ビス09止めしたら、電線08を照明表示器(6)背後の構造凹部(2)内に挿入してセットする。次いで補助計器板02を照明表示器(6)及び計器板本体(1)に組付ける。このときには、補助計器板02の係合部03を照明表示器(6)の係合部010に係合し、補助計器板02の各取付座04を計器板本体(1)の各取付

座(5)に面合せして、それぞれをビス09により固定する(第7図参照)。このビス09止めは、デフロスタガーニッショ取付用開口部09を作業孔として行う。最後にデフロスタガーニッショ06を開口部09に組付ける。このときには、デフロスタガーニッショ06の係合部07を開口部09に押込んで固定する(第7図参照)。

以上本発明を実施例について説明したが、勿論本発明はこのような実施例にだけ局限されるものではなく、本発明の精神を逸脱しない範囲内で様々な設計の変更を施しうるものである。

4. [図面の簡単な説明]

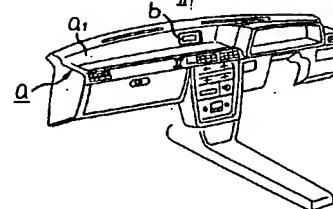
第1図は従来の自動車用計器板を示す斜視図。第2図は第1図矢視I-I断面図。第3図は本発明に係る自動車用計器板の一実施例を示す斜視図。第4図はその分解斜視図。第5図は第3図矢視V-V断面図。第6図は第3図矢視VI-VI断面図。第7図は第3図矢視VII-VII断面図である。

(1)…計器板本体。 (2)…構造凹部。

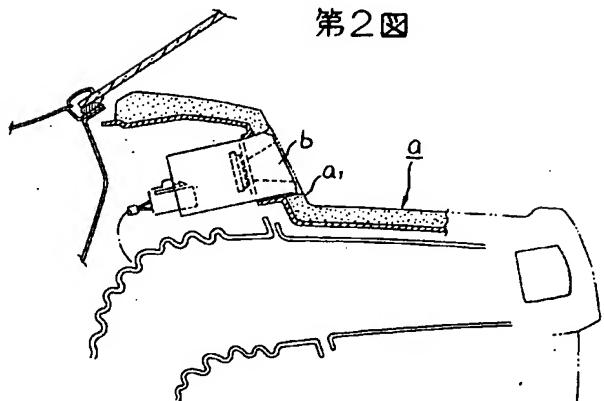
(6)…照明表示器。 (6a)(6b)…表示部。
 01…照明表示器(6)の係合部。 02…補助計器板。
 03…補助計器板02の係合部。 04…補助計器板02の取付部
 05…デフロスタガーニッショ取付用開口部
 06…デフロスタガーニッショ。

復代理入弁理士岡本重文
 外2名

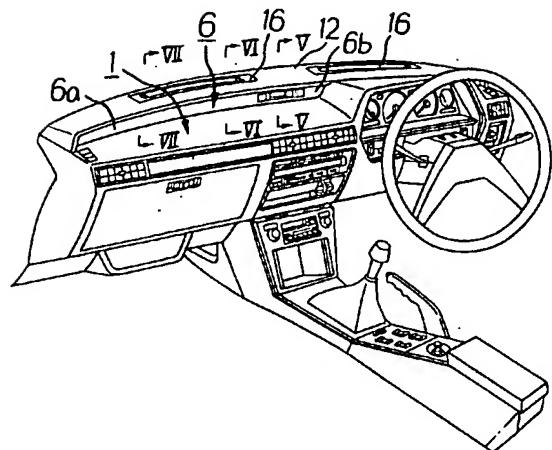
第1図



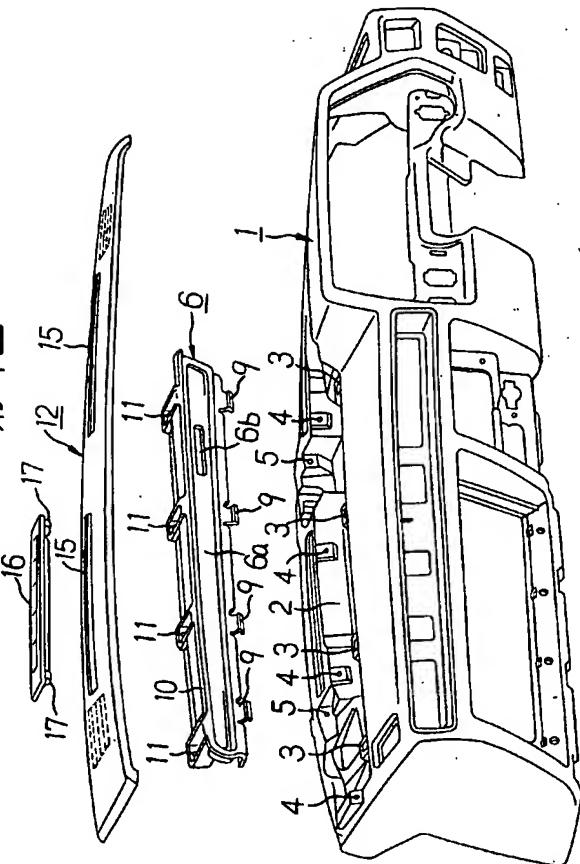
第2図



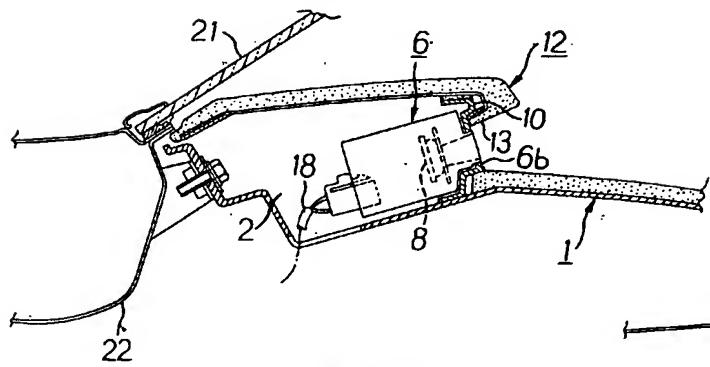
第3図



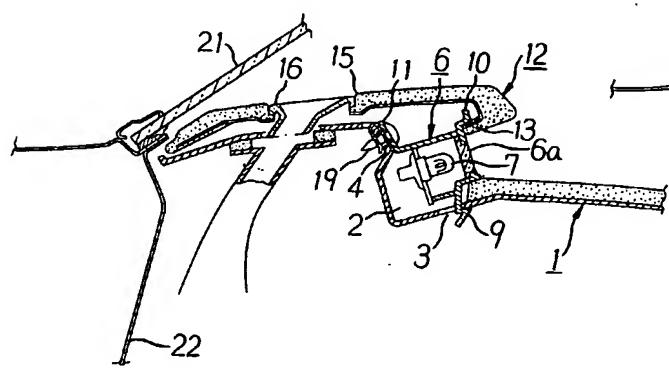
第4圖



第5図



第6図



第7図

